

### 3. 教育課程に関する事項

《カリキュラム全体の見方》

<授業方法>欄

T：テキスト科目

S：スクーリング科目（メディア授業を含む）

<授業形態>欄

講：講義

演：演習

実：実技or実験or実習

<各要件>欄

卒業要件：卒業するために必要な単位

実習要件：教育実習実施前学期までに必要な科目

資格・教員免許要件：認定心理士や教員免許等を取得するために必要な科目

<資格・免許要件>欄

○：本学において、資格・免許を取得するために必須としている科目

△：選択必修科目

( )：認定心理士資格要件上、副次主題のため、修得した単位数の1/2換算を表す

#### 《注意事項》

※所属学部が開講する科目のみ、履修することができます。

※各科目の担当教員や、スクーリング科目の授業方法（対面授業・メディア授業等）は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表を参照してください。

※講義概要の変更等により、今後授業方法が変更となる場合があります。

## 3-1 こども心理学部こども心理学科

## 3-1-1 カリキュラム構成

## ●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	インストラクター・レクリエーション	卒業要件単位数		備考
					実習要件	免許要件	実習要件	免許要件			必修	選択	
一般教育科目	人文	哲学	1 2 3 4	T 講							2	4単位以上	
		宗教学	1 2 3 4	T 講							2		
		歴史学	1 2 3 4	T 講							2		
		文学	1 2 3 4	T 講							2		
		国語表現	1 2 3 4	S 講						2			
	自然科学	数学	1 2 3 4	T 講							2	4単位以上	
		天文学	1 2 3 4	T 講							2		
		生命科学	1 2 3 4	T 講							2		
		脳科学	1 2 3 4	S 講							2		
		環境科学	1 2 3 4	T 講							2		
	社会	社会学	1 2 3 4	T 講					△		2	4単位以上	
		政治学	1 2 3 4	S 講							2		
		経済学	1 2 3 4	T 講					△		2		
		法律学	1 2 3 4	T 講					△		2		
		日本国憲法	1 2 3 4	T 講		○	○				2		
	スポーツ科目群	体育実技A	1 2 3 4	S 実		△	△	△			1	2単位以上	
		体育実技B	2 3 4	S 実		△	△	△			1		
		レクリエーション論	1 2 3 4	S 講		△	△	△			2		
		健康科学論	2 3 4	T 講		△	△	△			2		
	情報処理科目群	情報科学概論	1 2 3 4	T 講						2	4単位以上		
情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)		1 2 3 4	S 演		○	○			2				
情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)		2 3 4	S 演						2				
外国語科目群	英語Ⅰ	1 2 3 4	T 講		△	△			2	8単位以上			
	英語Ⅱ	2 3 4	T 講		△	△			2				
	英語コミュニケーションⅠ	1 2 3 4	S 演		△	△		2					
	英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S 演		△	△		2					
	リスニング	1 2 3 4	S 演		△	△		2					
	中国語	2 3 4	S 演		△	△		2					

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上  
一般教育科目から32単位以上

履修条件有(P.70)

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	卒業要件単位数		備考	
						実習要件	免許要件	実習要件	免許要件			必修	選択		小計
専門教育科目	基礎科目	子ども学	1 2 3 4	T	講		△	△				2	12単位 12単位以上 一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上		
		心理学概論（こころの形成）	1 2 3 4	T	講	○	△	△				2			
		心理学概論（こころの理解）	1 2 3 4	T	講	○	△	△				2			
		乳幼児心理学	1 2 3 4	T	講	○	○	○				2			
		子ども臨床心理学	1 2 3 4	T	講	○	△	△				2			
		子どもの心理学（総論）	1 2 3 4	T	講	(○)	△	△				2			
	基幹科目	教育心理学	1 2 3 4	T	講	○	○	○	○					2	
		青年心理学	2 3 4	T	講	△								2	
		パーソナリティ心理学	2 3 4	T	講	△								2	
		カウンセリング論	2 3 4	T	講	○								2	
		生涯発達心理学	2 3 4	T	講	△	○	○						2	
		心理学研究法 I	1 2 3 4	S	講	○								2	
		心理統計法 I	1 2 3 4	S	演	○								2	
		心理・教育アセスメント I	2 3 4	S	実	○								2	
教育学概論	1 2 3 4	T	講		○	○	○	○	△			2			

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	卒業要件単位数		備考
						実習要件	免許要件	実習要件	免許要件			必修	選択	
専門教育科目	認知心理学	2 3 4	T	講	△							2		
	感情心理学	2 3 4	T	講	△							2		
	発達生理心理学Ⅰ	2 3 4	T	講	△							2		
	発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	講	△							2		履修条件有 (P.71)
	比較行動学	3 4	T	講	△							2		
	精神保健学	2 3 4	T	講	(△)					△		2		
	発達の課題と障害	3 4	T	講	△							2		
	発達障害学	1 2 3 4	T	講	△	○		○				2		
	心身医学	3 4	T	講	(△)					△		2		
	心理療法基礎	2 3 4	S	演	△							2		
	心理療法上級	3 4	S	演	△							2		履修条件有 (P.71)
	家族の心理学	1 2 3 4	T	講	△							2		
	親子関係の心理学	3 4	T	講	(△)							2		
	言語心理学	3 4	T	講	△							2		
	集団の心理学	2 3 4	T	講	△							2		
	学校教育カンファレンス	3 4	S	演	(△)						△	2		
	子育てカンファレンス	3 4	S	演	(△)						△	2		
	子どもマーケット調査論	2 3 4	T	講								2		
	子ども文化	2 3 4	S	講								2		
	対人コミュニケーション論	2 3 4	T	講	△							2		
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S	演	△							2		
	少年非行の心理学	1 2 3 4	T	講	△							2		
	犯罪の心理学	3 4	T	講	△							2		
	心理統計法Ⅱ	2 3 4	S	演	△							2		履修条件有 (P.71)
	心理学基礎実験	2 3 4	S	実	○							2		履修条件有 (P.71)
	心理・教育アセスメントⅡ	3 4	S	演	(△)							2		履修条件有 (P.71)
社会的認知	2 3 4	S	講	△							2			
文化心理学	2 3 4	T	講	△							2			
心理学研究法Ⅱ	2 3 4	S	演	△							2		履修条件有 (P.71)	
産業カウンセリング	3 4	S	講	△							2			
ストレスマネジメント論	2 3 4	T	講	△							2			

展開科目から48単位以上

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上  
専門教育科目から92単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	卒業要件単位数		備考
						実習要件	免許要件	実習要件	免許要件			必修	選択	
専門教育科目	国語	2 3 4	S	講			△						2	国語、算数、生活より2科目4単位以上 (幼稚園教諭一種免許取得要件)
	社会	3 4	T	講									2	
	算数	3 4	T	講			△						2	
	理科	3 4	S	演									2	
	生活	2 3 4	T	講			△						2	
	子ども美術	2 3 4	S	演		○	○						2	
	家庭	3 4	S	演									2	
	子ども体育	2 3 4	S	演		○	○				△		2	
	子ども音楽	2 3 4	S	演		○	○						2	
	音楽実技ⅠA	1 2 3 4	S	実			○						1	
	音楽実技ⅠB	1 2 3 4	S	実			○						1	
	音楽実技ⅡA	2 3 4	S	実			△						1	
	音楽実技ⅡB	2 3 4	S	実			△						1	
	音楽実技ⅢA	3 4	S	実			△						1	
	音楽実技ⅢB	3 4	S	実			△						1	
	音楽実技ⅣA	4	S	実			△						1	
	音楽実技ⅣB	4	S	実			△						1	
	教職論	2 3 4	T	講		○	○		○					2
	子ども教育課程論	3 4	S	講		○	○		○					2
	比較教育制度論	4	T	講			○		○					2
	初等国語科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等社会科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等算数科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等理科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等生活科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等音楽科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等図画工作科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等家庭科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	初等体育科教育法	2 3 4	T	講					○					2
	英語指導法	3 4	T	講						△				2
生徒・進路指導	3 4	T	講					○	○				2	
教育相談	3 4	T	講						○				2	

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	幼免一種		小免一種		社会福祉主事	インクリエーション・ストラクチャー	卒業要件単位数		備考
						実習要件	免許要件	実習要件	免許要件			必修	選択	
専門教育科目	展開科目(教育)	保育内容総論(保育指導法)	2 3 4	T	講		○						2	
		健康指導法	3 4	T	講		○						2	
		人間関係指導法	3 4	T	講	3科目6単位以上	○						2	
		環境指導法	3 4	T	講		○						2	
		言葉指導法	3 4	T	講		○						2	
		造形表現指導法	3 4	T	講		○						2	
		音楽表現指導法	3 4	S	演		○						2	
		幼児理解と保育相談	3 4	T	講		○						2	
		教育の方法と技術	3 4	T	講	○		○				2		
		特別活動	4	T	講			○				2		
		道徳教育	3 4	T	講		△	○	○			2		
		子ども家庭福祉	2 3 4	T	講		△		△	△		2		
		社会福祉	3 4	T	講					△		2		
		国際社会の福祉	4	S	講							2		
		教職実践演習(幼・小)	4	S	演		○		○			2	履修条件有(P.71)	
		教育実習指導(事前・事後)(幼)	4 ※	S	実		○					1		
		教育実習Ⅰ(幼)	4	S	実		○			△		2	履修条件有(P.71)	
		教育実習Ⅱ(幼)	4	S	実		○			△		2	履修条件有(P.71)	
		教育実習指導(事前・事後)(小)	4 ※	S	実				○			1		
		教育実習Ⅰ(小)	4	S	実				○	△		2	履修条件有(P.71)	
	教育実習Ⅱ(小)	4	S	実				○	△		2	履修条件有(P.71)		
	ジェンダー論	1 2 3 4	T	講							2			
	介護等体験	3 4		実				○						
卒業科目	こども心理学演習	3 4	T/S	演	△							2		
	卒業研究・卒業論文	4	T/S	演	△							4	履修条件有(P.71)	

※教育実習指導(事前・事後)(幼)・教育実習指導(事前・事後)(小)は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。

●正科生（3年次編入学）

A. 認定心理士コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	卒業要件 単位数				備考
							必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	認定単位						32		32 単位		
専門教育科目	基礎科目	子ども学	3 4	T	講			2		12 単位	
		心理学概論（こころの形成）	3 4	T	講	○		2			
		心理学概論（こころの理解）	3 4	T	講	○		2			
		乳幼児心理学	3 4	T	講	○		2			
		子ども臨床心理学	3 4	T	講	○		2			
		子どもの心理学（総論）	3 4	T	講	(○)		2			
	基幹科目	教育心理学	3 4	T	講	○		2		12 単位以上	
		青年心理学	3 4	T	講	△			2		
		パーソナリティ心理学	3 4	T	講	△			2		
		カウンセリング論	3 4	T	講	○		2			
		生涯発達心理学	3 4	T	講	△			2		
		教育学概論	3 4	T	講		△		2		
		心理学研究法Ⅰ	3 4	S	講	○			2		
		心理統計法Ⅰ	3 4	S	演	○			2		
	展開科目	(心理)	心理・教育アセスメントⅠ	3 4	S	実	○			2	
			心理統計法Ⅱ	3 4	S	演	△			2	履修条件有 (P.71)
			心理学基礎実験	3 4	S	実	○			2	履修条件有 (P.71)
		認知心理学	3 4	T	講	△			2		
		感情心理学	3 4	T	講	△			2		
		言語心理学	3 4	T	講	△			2		
		親子関係の心理学	3 4	T	講	(△)			2		
		発達の課題と障害	3 4	T	講	△			2		
		発達生理心理学Ⅰ	3 4	T	講	△			2		
		発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	講	△			2	履修条件有 (P.71)	
		比較行動学	3 4	T	講	△			2		
		心理療法基礎	3 4	S	演	△			2		
		心理療法上級	3 4	S	演	△			2	履修条件有 (P.71)	
		精神保健学	3 4	T	講	(△)	△		2		
		発達障害学	3 4	T	講	△			2		
		心身医学	3 4	T	講	(△)	△		2		
		少年非行の心理学	3 4	T	講	△			2		
		犯罪の心理学	3 4	T	講	△			2		
		学校教育カンファレンス	3 4	S	演	(△)			2		
子育てカンファレンス		3 4	S	演	(△)			2			
集団の心理学		3 4	T	講	△			2			
対人コミュニケーション論		3 4	T	講	△			2			
対人コミュニケーションスキル		3 4	S	演	△			2			
家族の心理学		3 4	T	講	△			2			
子どもマーケット調査論		3 4	T	講				2			
子ども文化		3 4	S	講				2			
心理・教育アセスメントⅡ		3 4	S	演	(△)			2	履修条件有 (P.71)		
社会的認知	3 4	S	講	△			2				
文化心理学	3 4	T	講	△			2				
心理学研究法Ⅱ	3 4	S	講	△			2	履修条件有 (P.71)			
ストレスマネジメント論	3 4	T	講	△			2				
産業カウンセリング	3 4	S	講	△			2				
(教育)	子ども家庭福祉	3 4	T	講		△		2			
	社会福祉	3 4	T	講		△		2			
	ジェンダー論	3 4	T	講				2			
	認定単位						28				

参照：認定心理士資格（（公社）日本心理学会認定資格）読替表（P.86）  
 （注）基礎科目・基幹科目・展開科目それぞれの最低必要単位数の合計ではありません。

B. 幼稚園教諭一種免許コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	幼児一種免許要件		社会福祉事	卒業要件単位数		備考
					実習要件	免許要件		必修	選択	
一般教育科目	日本国憲法	3 4	T	講		○		2	32単位	個別認定単位数を含む
	健康科学論	3 4	T	講		○		2		
	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	3 4	S	演		○		2		
	英語 I	3 4	T	講		○		2		
認定単位								24		
基礎科目	子ども学	3 4	T	講		△		2	12単位	
	心理学概論(こころの形成)	3 4	T	講		△		2		
	心理学概論(こころの理解)	3 4	T	講		△		2		
	乳幼児心理学	3 4	T	講		○		2		
	子ども臨床心理学	3 4	T	講		△		2		
子どもの心理学(総論)	3 4	T	講		△		2			
基幹科目	教育学概論	3 4	T	講	○	○	△	2	12単位	
	教育心理学	3 4	T	講	○	○		2		
	生涯発達心理学	3 4	T	講		○		2		
	カウンセリング論	3 4	T	講				2		
認定単位								4		
専門教育科目	国語	3 4	S	講				2	68単位以上	
	算数	3 4	T	講				2		
	生活	3 4	T	講				2		
	子ども音楽	3 4	S	演	○	○		2		
	音楽実技 I A	3 4	S	実		○		1		
	音楽実技 I B	3 4	S	実		○		1		
	音楽実技 II A	3 4	S	実		△		1		
	音楽実技 II B	3 4	S	実		△		1		
	音楽実技 III A	3 4	S	実		△		1		
	音楽実技 III B	3 4	S	実		△		1		
	音楽実技 IV A	4	S	実		△		1		
	音楽実技 IV B	4	S	実		△		1		
	子ども美術	3 4	S	演	○	○		2		
	子ども体育	3 4	S	演	○	○		2		
	教職論	3 4	T	講	○	○		2		
	比較教育制度論	4	T	講		○		2		
	子ども教育課程論	3 4	S	講	○	○		2		
	保育内容総論(保育指導法)	3 4	T	講		○		2		
	健康指導法	3 4	T	講		○		2		
	人間関係指導法	3 4	T	講		○		2		
	環境指導法	3 4	T	講		○		2		
	言葉指導法	3 4	T	講		○		2		
	造形表現指導法	3 4	T	講		○		2		
	音楽表現指導法	3 4	S	演		○		2		
	英語指導法	3 4	T	講				2		
	教育の方法と技術	3 4	T	講		○		2		
	幼児理解と保育相談	3 4	T	講		○		2		
	教職実践演習(幼・小)	4	S	演		○		2		
	教育実習指導(事前・事後)(幼)	4※	S	実		○		1		
	教育実習 I (幼)	4	S	実		○		2		
	教育実習 II (幼)	4	S	実		○		2		
	子ども家庭福祉	3 4	T	講		△	△	2		
	社会福祉	3 4	T	講			△	2		
国際社会の福祉	4	S	講				2			
道徳教育	3 4	T	講		△		2			
ジェンダー論	3 4	T	講				2			
発達障害学	3 4	T	講		○		2			
心身医学	3 4	T	講			△	2			
精神保健学	3 4	T	講			△	2			
認知心理学	3 4	T	講				2			
感情心理学	3 4	T	講				2			
認定単位								24		

※教育実習指導(事前・事後)(幼)は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。  
 参照：幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表(P.88~89)



C. 小学校教諭一種免許コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
					実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	日本国憲法	3 4	T	講		○		2		32単位	個別認定単位数を含む	
	健康科学論	3 4	T	講		○		2				
	情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)	3 4	S	演		○		2				
	英語Ⅰ	3 4	T	講		○		2				
	認定単位								24			
基礎科目	子ども学	3 4	T	講		△		2		12単位		
	心理学概論(こころの形成)	3 4	T	講		△		2				
	心理学概論(こころの理解)	3 4	T	講		△		2				
	乳幼児心理学	3 4	T	講		○		2				
	子ども臨床心理学	3 4	T	講		△		2				
	子どもの心理学(総論)	3 4	T	講		△		2				
基幹科目	教育学概論	3 4	T	講	○	○	△	2		12単位		
	教育心理学	3 4	T	講		○		2				
	生涯発達心理学	3 4	T	講		○		2				
	カウンセリング論	3 4	T	講				2				
	認定単位								4			
専門教育科目	国語	3 4	S	講	4科目8単位以上	5科目10単位以上			2	68単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
	社会	3 4	T	講					2			
	算数	3 4	T	講					2			
	理科	3 4	S	演					2			
	生活	3 4	T	講				2				
	子ども美術	3 4	S	演				2				
	家庭	3 4	S	演				2				
	子ども体育	3 4	S	演				2				
	子ども音楽	3 4	S	演				2				
	音楽実技ⅠA	3 4	S	実				1				
	音楽実技ⅠB	3 4	S	実			1					
	音楽実技ⅡA	3 4	S	実			1					
	音楽実技ⅡB	3 4	S	実			1					
	音楽実技ⅢA	3 4	S	実			1					
	音楽実技ⅢB	3 4	S	実			1					
	音楽実技ⅣA		4	S	実			1				
	音楽実技ⅣB		4	S	実			1				
	教職論	3 4	T	講		○		2				
	比較教育制度論		4	T	講		○	2				
	子ども教育課程論	3 4	S	講		○		2				
	初等国語科教育法	3 4	T	講	4科目8単位以上		○	2				
	初等社会科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等算数科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等理科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等生活科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等音楽科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等図画工作科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等家庭科教育法	3 4	T	講			○	2				
	初等体育科教育法	3 4	T	講			○	2				
	英語指導法	3 4	T	講			△	2				
	道徳教育	3 4	T	講		○	○	2				
	特別活動		4	T	講		○	2				
	教育の方法と技術	3 4	T	講		○	○	2				
	生徒・進路指導	3 4	T	講		○	○	2				
	教育相談	3 4	T	講			○	2				
	教職実践演習(幼・小)		4	S	演		○	2				
	教育実習指導(事前・事後)(小)		4※	S	実		○	1				
	教育実習Ⅰ(小)		4	S	実		○	2				
	教育実習Ⅱ(小)		4	S	実		○	2				
	子ども家庭福祉	3 4	T	講		△	△	2				
	社会福祉	3 4	T	講			△	2				
	国際社会の福祉		4	S	講			2				
ジェンダー論	3 4	T	講				2					
介護等体験	3 4	T	実		○		2					
発達障害学	3 4	T	講		○		2					
心身医学	3 4	T	講			△	2					
精神保健学	3 4	T	講			△	2					
認定単位								24				

※教育実習指導(事前・事後)(小)は、3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます。  
 参照：小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表(P.90~91)

D. 生涯学習コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
						必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	認定単位					32		32	単位	
基礎科目	子ども学	3 4	T	講		2		12	単位	
	心理学概論（こころの形成）	3 4	T	講		2				
	心理学概論（こころの理解）	3 4	T	講		2				
	乳幼児心理学	3 4	T	講		2				
	子ども臨床心理学	3 4	T	講		2				
	子どもの心理学（総論）	3 4	T	講		2				
基幹科目	教育学概論	3 4	T	講	△	2		12	単位	
	教育心理学	3 4	T	講		2				
	生涯発達心理学	3 4	T	講		2				
	青年心理学	3 4	T	講		2				
	パーソナリティ心理学	3 4	T	講		2				
カウンセリング論	3 4	T	講		2					
専門教育科目	(心理)	認知心理学	3 4	T	講		2	68	単位以上	
		感情心理学	3 4	T	講		2			
		言語心理学	3 4	T	講		2			
		親子関係の心理学	3 4	T	講		2			
		発達の課題と障害	3 4	T	講		2			
		発達生理心理学Ⅰ	3 4	T	講		2			
		発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	講		2			
		比較行動学	3 4	T	講		2			
		心理療法基礎	3 4	S	演		2			
		心理療法上級	3 4	S	演		2			
		精神保健学	3 4	T	講	△	2			
		発達障害学	3 4	T	講		2			
		心身医学	3 4	T	講	△	2			
	少年非行の心理学	3 4	T	講		2				
	犯罪の心理学	3 4	T	講		2				
	学校教育カンファレンス	3 4	S	演		2				
	子育てカンファレンス	3 4	S	演		2				
	集団の心理学	3 4	T	講		2				
	対人コミュニケーション論	3 4	T	講		2				
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S	演		2				
	家族の心理学	3 4	T	講		2				
	子どもマーケット調査論	3 4	T	講		2				
	子ども文化	3 4	S	講		2				
	社会的認知	3 4	S	講		2				
	文化心理学	3 4	T	講		2				
	ストレスマネジメント論	3 4	T	講		2				
(教育)	子ども家庭福祉	3 4	T	講	△	2	28	単位		
	社会福祉	3 4	T	講	△	2				
	国際社会の福祉	4	S	講		2				
	ジェンダー論	3 4	T	講		2				
認定単位						28				

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

専門教育科目から92単位以上

履修条件有 (P.71)

履修条件有 (P.71)

### 3-1-2 履修の規程

履修登録を行う際、下記に示した規程などに従って登録を行うように注意してください。場合によっては進級や卒業に影響が出ることがありますので十分に確認してください。なお、学則上の必修科目は各資格・免許等の取得における必修科目ではありません。よく確認してください。

#### <必修・選択の別>

必修科目	…………	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	…………	所定の領域の中から選択して履修する科目。 卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	…………	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

#### <履修の規程>

##### 一般教育科目（1年次入学生のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、これを含み合計4単位以上を選択必修とする。	
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。	
		社会	4単位以上を選択必修とする。	
	スポーツ科目群		2単位以上を選択必修とする。	
	情報処理科目群		[情報科学概論] [情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。	
	外国語科目群		[英語Ⅰ] [英語コミュニケーションⅠ] [リスニング] を必修とし、これらを含み合計8単位以上を選択必修とする。	
	合計		一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。	
	【一般教育科目 履修条件】			
	i) [情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）]は[情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）]の単位を修得しなければ履修することはできない。			
	【その他】			
i) [体育実技B]の履修には[体育実技A]の事前修得が望ましい。				

## 専門教育科目

科目	所属	3年次編入学生			
		1年次入学生	認定心理士 コース	生涯学習 コース	幼稚園教諭一種 免許コース
基礎科目		6科目12単位全てを必修とする。			
基幹科目		[教育心理学][カウンセリング論] を必修とし、これらを含み合計12 単位以上を選択必修とする。	6科目12単位 全てを必修とす る。	認定単位を含め、12単位を全て必 修とする。	
展開科目		合計48単位以 上を選択必修 とする。	認定単位を含め 62単位以上を 選択必修とする。	認定単位を含め 68単位以上を 選択必修とする。	認定単位を含め、68単位以上を選 択必修とする。
自由選択科目		20単位	6単位	—	—
	(卒業研究科目2科目 6単位を含める)	(原則卒業研究科目履修不可)			
合計		専門教育科目から合計92単位以上(3年次編入学生は包括認定単位数を含む)の修得を卒業要件単位数とする。			
専門教育科目		<b>【専門教育科目 履修条件】</b> i) [心理統計法Ⅱ]は[心理統計法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 ii) [心理学基礎実験]は[心理学研究法Ⅰ][心理統計法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iii) [心理学研究法Ⅱ]は[心理学研究法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iv) [心理療法上級]は[心理療法基礎]の単位を修得しなければ履修することはできない。 v) [心理・教育アセスメントⅡ]は[心理・教育アセスメントⅠ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 vi) [発達生理心理学Ⅱ]は[発達生理心理学Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 vii) [音楽実技ⅡA・ⅡB]は[音楽実技ⅠA・ⅠB]の単位を修得しなければ履修することはできない。 viii) [音楽実技ⅢA・ⅢB]は[音楽実技ⅡA・ⅡB]の単位を修得しなければ履修することはできない。 ix) [音楽実技ⅣA・ⅣB]は[音楽実技ⅢA・ⅢB]の単位を修得しなければ履修することはできない。 x) [教育実習Ⅰ・Ⅱ]は[教育実習指導(事前・事後)]を履修しなければ実施することはできない。 xi) [教育実習Ⅰ・Ⅱ]は教育実習要件科目※の単位を修得しなければ実施することはできない。 ※「カリキュラム構成」(P.61～69)参照 xii) [教職実践演習(幼・小)]は[教育実習]を終了しなければ履修することはできない。 ただし、取得を目指す同校種の実務経験があり、教育職員免許法施行規則第六条備考九を使用して教育実習を行わない場合には、通信教育部まで連絡すること。 xiii) [卒業研究・卒業論文]は[こども心理学演習]の単位を修得しなければ履修することはできない。 上記以外にも、科目の履修に必要な単位を事前に修得していない場合、履修を認めないことがある。シラバス及び担当教員の指示に従うこと。			
		<b>【その他】</b> i) [音楽実技B]の履修には[音楽実技A]の事前履修が望ましい。 ii) [心理・教育アセスメントⅠ]の履修には[子ども臨床心理学]の事前履修が望ましい。 iii) [対人コミュニケーションスキル]の履修には、[対人コミュニケーション論]の事前履修が望ましい。 iv) [子育てカンファレンス]の履修には[親子関係の心理学]の事前履修が望ましい。 v) [心理統計法Ⅱ]の履修には[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]の事前履修もしくは同程度のパソコンスキルの修得が望ましい。 vi) 卒業研究科目の履修にはテキスト科目・スクーリング科目(メディア授業を含む)に関らず指導教員の専門科目を1科目以上履修しておくことが望ましい。			

**\*履修条件がある科目は、履修登録の時点で前提となる科目の単位を修得しておく必要があります。**

## 総計

こども心理学部こども心理学科の正科生(1年次入学・3年次編入学)の卒業要件単位数は124単位以上とする。(3年次編入学は包括認定単位数を含める。)

### 3-1-3 進級要件

#### ●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目
小計		22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	12単位以上	必修科目	16単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

#### ●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

### 3-1-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

#### ●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分		必修	選択必修	自由選択	小計	備考	
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で充たさなければならない。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群	0	2				
	情報処理科目群	4	0				
外国語科目群	6	2	20	92単位以上			
専門教育科目	基礎科目	12			0		
基幹科目	4	8					
展開科目	0	48					
	卒業研究科目	0	0				
合計		28単位	70単位	26単位	124単位		

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

◆認定心理士コース

科目区分		卒業要件単位			備考
		必修	選択必修	小計	
一般教育科目（認定単位）		(32)		32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で満たさなければならない。
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	
	基幹科目	4	8	12	
	展開科目	0	34	62	
	(認定単位)	(28)		6*	
合計		-		124単位	

※基幹科目もしくは展開科目の中からそれぞれに必要な単位数に加えて余剰分6単位以上がさらに必要となる。

◆生涯学習コース

科目区分		卒業要件単位			備考
		必修	選択必修	小計	
一般教育科目（認定単位）		(32)		32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で満たさなければならない。
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	
	基幹科目	12	0	12	
	展開科目	0	40	68	
	(認定単位)	(28)		68	
合計		-		124単位	

◆幼稚園教諭一種免許コース・小学校教諭一種免許コース

科目区分		卒業要件単位			備考	
		必修	選択必修	小計		
一般教育科目	日本国憲法	2	0	32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で満たさなければならない。	
	健康科学論	2	0			
	情報処理 I（機器操作を含む）	2	0			
	英語 I	2	0			
	(認定単位)	(24)				
専門教育科目	基礎科目	12	0	12		
	基幹科目	8	0	12		
	(認定単位)	(4)		92単位以上		
	展開科目	0	44			68
	(認定単位)	(24)				
合計		-		124単位		

\*通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。

## 3-2 モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

### 3-2-1 カリキュラム構成

#### ●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	「公認モチベーション・マネジャー」B級資格	卒業要件単位数				備考
									必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	人文	哲学	1 2 3 4	T	講					2	4単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上	
		宗教学	1 2 3 4	T	講					2			
		歴史学	1 2 3 4	T	講					2			
		文学	1 2 3 4	T	講					2			
		国語表現	1 2 3 4	S	講					2			
	自然科学	数学	1 2 3 4	T	講					2	4単位以上		
		天文学	1 2 3 4	T	講					2			
		生命科学	1 2 3 4	T	講					2			
		脳科学	1 2 3 4	S	講					2			
		環境科学	1 2 3 4	T	講					2			
	社会	社会学	1 2 3 4	T	講		△			2	4単位以上		
		政治学	1 2 3 4	S	講					2			
		経済学	1 2 3 4	T	講		△			2			
		法律学	1 2 3 4	T	講		△			2			
		日本国憲法	1 2 3 4	T	講					2			
	スポーツ科目群	体育実技A	1 2 3 4	S	実			△		1	2単位以上		
		体育実技B	2 3 4	S	実			△		1			
		レクリエーション論	1 2 3 4	S	講			△		2			
		健康科学論	2 3 4	T	講			△		2			
	情報処理科目群	情報科学概論	1 2 3 4	T	講					2	4単位以上		
情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）		1 2 3 4	S	演					2				
情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）		2 3 4	S	演					2	履修条件有（P.80）			
外国語科目群	英語Ⅰ	1 2 3 4	T	講					2	8単位以上			
	英語Ⅱ	2 3 4	T	講					2				
	英語コミュニケーションⅠ	1 2 3 4	S	演					2				
	英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S	演					2				
	リスニング	1 2 3 4	S	演					2				
	中国語	2 3 4	S	演					2				

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	ハ公認モチベーション・マネジャーBasic資格	卒業要件単位数		備考
									必修	選択	
専門教育科目 心理・コミュニケーション科目群	心理学	1 2 3 4	T	講	○	△			2		
	パーソナリティ心理学	1 2 3 4	T	講	△				2		
	行動科学	1 2 3 4	S	講	○				2		
	心理学研究法	1 2 3 4	S	講	○				2		
	社会心理学	1 2 3 4	T	講	△				2		
	統計分析	1 2 3 4	S	演	○				2		
	生涯発達心理学	2 3 4	T	講	△				2		
	心理学実験実習	2 3 4	S	実	○				2		履修条件有 (P.81)
	感性心理学	2 3 4	T	講	△				2		
	調査法	2 3 4	S	講	(△)				2		
	感情心理学	3 4	T	講	△				2		
	グループ・ダイナミックス	1 2 3 4	T	講	△				2		
	組織心理学	1 2 3 4	T	講	○			○	2		
	認知心理学	1 2 3 4	T	講	△				2		
	家族の心理学	1 2 3 4	T	講	△				2		
	臨床心理学	1 2 3 4	T	講	△				2		
	モチベーション論Ⅰ	2 3 4	T	講	○			○	2		
	リーダーシップ論	2 3 4	T	講	○			○	2		
	コミュニケーションの心理学	2 3 4	T	講	△			○	2		
	カウンセリング論	2 3 4	T	講	△				2		
	産業カウンセリング	2 3 4	S	講	△				2		
	モチベーション論Ⅱ	2 3 4	T	講	○			○	2		履修条件有 (P.81)
	ストレスマネジメント論	2 3 4	T	講	△				2		
	心理療法	2 3 4	S	講	△				2		
	コミュニケーション・スキル	2 3 4	S	演	△				2		
	心理アセスメント	2 3 4	S	実	○				2		
ポジティブ心理学	3 4	T	講	△			○	2			
キャリアカウンセリング論	3 4	T	講	△				2			
カウンセリング演習	3 4	S	演	△				2			
エイジングの心理学	3 4	T	講	△				2			

16単位以上  
専門教育科目から92単位以上

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上



科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	インストラクション・レクリエーション	「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格	卒業要件単位数				備考	
									必修	選択	小計	合計		
専門教育科目	経営科目群	ジェンダー論	1 2 3 4	T	講					2				
		モチベーション・マネジメント	2 3 4	S	講				○	2				
		クライシス・マネジメント	2 3 4	T	講						2			
		公共サービス論	3 4	S	講						2			
		地域マネジメント論	3 4	T	講						2			
		経営史	1 2 3 4	T	講						2			
		簿記	1 2 3 4	S	講						2			
		経営組織論	1 2 3 4	T	講					2				
		国際経済	1 2 3 4	T	講						2			
		経営管理	2 3 4	T	講						2			
		国際経営論	2 3 4	T	講						2			
		人的資源管理論	2 3 4	T	講						2			
		労働と法	2 3 4	T	講						2			
		経営戦略	3 4	S	講						2			
		ゲーム理論	3 4	S	講	△					2			
		経営リスクマネジメント	3 4	S	講						2			
		流通論	1 2 3 4	T	講						2			
		消費者の行動と心理	2 3 4	T	講					2				
		マーケティング・リサーチ	2 3 4	T	講						2			
		マーケティングA	2 3 4	S	演						2			
マーケティングB	2 3 4	S	演						2					
広告戦略	3 4	T	講						2					
マーケティング戦略	3 4	T	講						2					

12単位以上  
 専門教育科目から合計124単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	レクリエーション・インストラクター	「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格	卒業要件単位数		備考
									必修	選択	
専門教育科目	教育科目群	教育心理学	1 2 3 4	T	講	○			2		一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 専門教育科目から92単位以上 12単位以上
		生涯学習論	1 2 3 4	T	講				2		
		学びとモチベーション	1 2 3 4	S	講				2		
		教育とメディア	1 2 3 4	T	講				2		
		ボランティア論	1 2 3 4	T	講				2		
		国際理解教育論	1 2 3 4	T	講				2		
		スポーツ・マネジメント	2 3 4	T	講				2		
		異文化コミュニケーション	2 3 4	T	講				2		
		コーチング	2 3 4	T	講				○ 2		
		教育と産業社会	2 3 4	T	講				2		
		教育カウンセリング	2 3 4	T	講				2		
		社会教育とシティズンシップ	2 3 4	T	講				2		
		身体文化コミュニケーション	2 3 4	S	演			△	2		
		ファシリテーション論	3 4	T	講				2		
		教育とアイデンティティ	3 4	T	講				2		
		教育福祉論	3 4	T	講				2		
		身体文化コーディネート	3 4	S	演			△	2		
	開発教育	3 4	T	講				2			
卒業研究科目	演習Ⅰ	3 4	T/S	演	△			2			
	演習Ⅱ	3 4	T/S	演	△			2	履修条件有(P.81)		
	卒業研究	4	T/S	演	△			4	履修条件有(P.81)		

●正科生（3年次編入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネージャー」Basic資格	卒業要件単位数				備考
							必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	認定単位						32		32単位		
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	心理学	34	T	講	○		2			
		パーソナリティ心理学	34	T	講	△			2		
		行動科学	34	S	講	○			2		
		心理学研究法	34	S	講	○			2		
		社会心理学	34	T	講	△				2	
		統計分析	34	S	演	○				2	
		生涯発達心理学	34	T	講	△				2	
		心理学実験実習	34	S	実	○				2	履修条件有 (P.81)
		感性心理学	34	T	講	△				2	
		調査法	34	S	講	(△)				2	
		感情心理学	34	T	講	△				2	
		グループ・ダイナミックス	34	T	講	△				2	
		組織心理学	34	T	講	○	○		2		
		認知心理学	34	T	講	△				2	
		家族の心理学	34	T	講	△				2	
		臨床心理学	34	T	講	△				2	
		モチベーション論Ⅰ	34	T	講	○	○		2		
		リーダーシップ論	34	T	講	○	○		2		
		コミュニケーションの心理学	34	T	講	△	○			2	
		カウンセリング論	34	T	講	△				2	
		産業カウンセリング	34	S	講	△				2	
		モチベーション論Ⅱ	34	T	講	○	○		2		履修条件有 (P.81)
		ストレスマネジメント論	34	T	講	△				2	
		心理療法	34	S	講	△				2	
コミュニケーション・スキル	34	S	演	△				2			
心理アセスメント	34	S	実	○				2			
ポジティブ心理学	34	T	講	△	○			2			
キャリアカウンセリング論	34	T	講	△				2			
カウンセリング演習	34	S	演	△				2			
エイジングの心理学	34	T	講	△				2			

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格	卒業要件単位数				備考		
							必修	選択	小計	合計			
専門教育科目	経営科目群	ジェンダー論	3 4	T	講			2					
		モチベーション・マネジメント	3 4	S	講		○	2					
		クライシス・マネジメント	3 4	T	講				2				
		公共サービス論	3 4	S	講				2				
		地域マネジメント論	3 4	T	講				2				
		経営史	3 4	T	講				2				
		簿記	3 4	S	講				2				
		経営組織論	3 4	T	講				2				
		国際経済	3 4	T	講				2				
		経営管理	3 4	T	講				2				
		国際経営論	3 4	T	講				2				
		人的資源管理論	3 4	T	講				2				
		労働と法	3 4	T	講				2				
		経営戦略	3 4	S	講				2				
		ゲーム理論	3 4	S	講	△			2				
		経営リスクマネジメント	3 4	S	講				2				
		流通論	3 4	T	講				2				
		消費者の行動と心理	3 4	T	講				2				
		マーケティング・リサーチ	3 4	T	講				2				
		マーケティングA	3 4	S	演				2				
マーケティングB	3 4	S	演				2						
広告戦略	3 4	T	講				2						
マーケティング戦略	3 4	T	講				2						
専門教育科目	教育科目群	教育心理学	3 4	T	講	○		2					
		生涯学習論	3 4	T	講			2					
		学びとモチベーション	3 4	S	講			2					
		教育とメディア	3 4	T	講			2					
		ボランティア論	3 4	T	講			2					
		国際理解教育論	3 4	T	講			2					
		スポーツ・マネジメント	3 4	T	講			2					
		異文化コミュニケーション	3 4	T	講			2					
		コーチング	3 4	T	講		○	2					
		教育と産業社会	3 4	T	講			2					
		教育カウンセリング	3 4	T	講			2					
		社会教育とシティズンシップ	3 4	T	講			2					
		身体文化コミュニケーション	3 4	S	演			2					
		ファシリテーション論	3 4	T	講			2					
		教育とアイデンティティ	3 4	T	講			2					
		教育福祉論	3 4	T	講			2					
		身体文化コーディネート	3 4	S	演			2					
開発教育	3 4	T	講			2							
認定単位							28						

参照：認定心理士資格((公社)日本心理学会認定資格)読替表(P.87)  
「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格((一社)モチベーション・マネジメント協会認定資格)読替表(P.99)

### 3-2-2 履修の規程

履修登録を行う際、下記に示した規程などに従って登録を行うように注意してください。場合によっては進級や卒業に影響が出る可能性がありますので十分に確認してください。なお、学則上の必修科目は各資格等の取得における必修科目ではありません。よく確認してください。

#### <必修・選択の別>

必修科目	…………	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	…………	所定の領域の中から選択して履修する科目。 卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	…………	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

#### <履修の規程>

##### 一般教育科目（1年次入学生のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、これを含み合計4単位以上を選択必修とする。	
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。	
		社会	4単位以上を選択必修とする。	
	スポーツ科目群		2単位以上を選択必修とする。	
	情報処理科目群		[情報科学概論] [情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。	
	外国語科目群		[英語Ⅰ] [英語コミュニケーションⅠ] [リスニング] を必修とし、これらを含み合計8単位以上を選択必修とする。	
	合計		一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。	
	【一般教育科目 履修条件】			
	i) [情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）]は[情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）]の単位を修得しなければ履修することはできない。			
	【その他】			
i) [体育実技B]の履修には[体育実技A]の事前修得が望ましい。				

## 専門教育科目

科目		1年次入学生	3年次編入学生
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	[心理学] [行動科学] [心理学研究法] [組織心理学] [モチベーション論Ⅰ] [リーダーシップ論] [モチベーション論Ⅱ]を必修とし、これらを含み合計16単位以上を選択必修とする。	
	経営科目群	[モチベーション・マネジメント] [経営組織論] [消費者の行動と心理]を必修とし、これらを含み合計12単位以上を選択必修とする。	
	教育科目群	[学びとモチベーション] [コーチング]を必修とし、これらを含み合計12単位以上を選択必修とする。	
	自由選択科目	52単位	24単位
		(卒業研究科目3科目8単位を含める)	(原則卒業研究科目履修不可)
	合計	専門教育科目から合計92単位以上(3年次編入学生は包括認定単位数含む)の修得を卒業要件単位数とする。	
<p><b>【専門教育科目 履修条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) [モチベーション論Ⅱ]は[モチベーション論Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。</li> <li>ii) [心理学実験実習]は[心理学研究法][統計分析]の単位を修得しなければ履修することはできない。</li> <li>iii) [演習Ⅱ]は[演習Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。</li> <li>iv) [卒業研究]は[演習Ⅱ]の単位を修得しなければ履修することはできない。</li> </ul> <p>上記以外にも、科目の履修に必要な単位を事前に修得していない場合、履修を認めないことがある。シラバス及び担当教員の指示に従うこと。</p>			
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 卒業研究科目の履修にはテキスト科目・スクーリング科目(メディア授業を含む)に関わらず指導教員の専門科目を1科目以上履修しておくことが望ましい。</li> </ul>			

**\*履修条件がある科目は、履修登録の時点で前提となる科目の単位を修得しておく必要があります。**

### 総計

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の正科生(1年次入学・3年次編入学)の卒業要件単位数は124単位以上とする。(3年次編入学は包括認定単位数を含める。)

### 3-2-3 進級要件

#### ●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目
小計		22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	16単位以上	必修科目	24単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

#### ●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

### 3-2-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

#### ●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分			卒業要件単位				備考
			必修	選択必修	自由選択	小計	
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で充たさなければならない。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群		0	2			
	情報処理科目群		4	0			
	外国語科目群		6	2			
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群		14	2	52	92単位以上	
	経営科目群		6	6			
	教育科目群		4	8			
	卒業研究科目		0	0			
合計			36単位	30単位	58単位	124単位	

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

科目区分		卒業要件単位				備考
		必修	選択必修	自由選択	小計	
一般教育科目(認定単位)		(32)			32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング科目(メディア授業を含む)で充たさなければならない。
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	14	2	24	92単位以上	
	経営科目群	6	6			
	教育科目群	4	8			
	(認定単位)	(28)				
合計		-			124単位	

\*通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。





## 4. 資格に関する事項

各資格・免許等の取得を希望する場合は、下記の諸条件および修得に必要な開講科目を確認してください。

<通信教育課程で取得できる資格・免許>

所属 資格・免許の名称	こども心理学部					モチベーション行動科学部	
	正科生 (1年次入学)	正科生 (3年次編入学)				正科生 (1年次入学)	正科生 (3年次編入学)
		認定心理士	幼稚園教諭 一種免許	小学校教諭 一種免許	生涯学習		
認定心理士	○	○	×	×	×	○	○
幼稚園教諭一種免許状	○	×	○	×	×	×	×
小学校教諭一種免許状	○	×	×	○	×	×	×
社会福祉主事任用資格	○	○	○	○	○	○	×
児童福祉司任用資格	○	○	○	○	○	×	×
児童指導員任用資格	○	○	○	○	○	×	×
レクリエーション・インストラクター	○	×	×	×	×	○	×
「公認モチベーション・マネジャー」 Basic資格	×	×	×	×	×	○	○

### 4-1 認定心理士【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部】

認定心理士とは、「心理学全般に関する最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」ことを公益社団法人日本心理学会が認定する資格です。

通信教育課程において所定の科目を全て修得し、卒業後、公益社団法人日本心理学会に申請することにより認定心理士資格を取得することができます。

#### ◆認定心理士資格取得に必要な授業科目◆

本学において認定心理士資格取得に必要な最低修得単位数は、以下の項目に従います。

- ・ a～cの3領域のうち、a・c領域でそれぞれ4単位以上かつb・c領域で合計8単位以上
- ・ d～hの5領域のうち、3領域各4単位以上を含む、合計16単位以上
- ・ 各領域のうち、少なくとも2単位は「副次主題」以外に属する単位とする
- ・ これらの領域全体で合計36単位。ただしi領域からは、4単位まで充て可

具体的な読替表および単位数は次頁の表を参照してください。

認定心理士資格（(公社)日本心理学会認定資格）に係る科目読替表

●こども心理学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
領域	単位数	科目	単位数			
			T	S		
a	心理学概論	心理学概論（こころの形成）	②			
		心理学概論（こころの理解）	②			
		子どもの心理学（総論）	((②))			
b	心理学研究法	心理学研究法Ⅰ		②		
		心理学研究法Ⅱ		2		
		心理統計法Ⅰ		②		
		心理統計法Ⅱ		2		
		心理学基礎実験		②		
c	心理学実験・実習	心理・教育アセスメントⅠ		②		
d	知覚心理学 学習心理学	認知心理学	2			
		感情心理学	2			
		言語心理学	2			
e	生理心理学 比較心理学	発達生理心理学Ⅰ	2			
		発達生理心理学Ⅱ	2			
		比較行動学	2			
f	教育心理学 発達心理学	教育心理学	②			
		乳幼児心理学	②			
		生涯発達心理学	2			
		青年心理学	2			
		親子関係の心理学	(2)			
g	臨床心理学 人格心理学	発達の課題と障害	2			
		子ども臨床心理学	②			
		カウンセリング論	②			
		産業カウンセリング		2		
		ストレスマネジメント論	2			
		心理療法基礎		2		
		心理療法上級		2		
		心理・教育アセスメントⅡ		(2)		
		パーソナリティ心理学	2			
		精神保健学	(2)			
		発達障害学	2			
		心身医学	(2)			
		少年非行の心理学	2			
		犯罪の心理学	2			
		学校教育カンファレンス		(2)		
		子育てカンファレンス		(2)		
		h	社会心理学 産業心理学	集団の心理学	2	
				社会的認知		2
				対人コミュニケーション論	2	
				対人コミュニケーションスキル		2
家族の心理学	2					
i	その他の科目	文化心理学	2			
		こども心理学演習		2		
		卒業研究・卒業論文		4		

36単位  
以上

3領域各4単位以上を  
含む16単位以上※

「卒業研究科目」からは、心理学に関連し  
たテーマに限り、最大4単位まで認める

(注)・( )は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。

・②は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。

・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。

※各領域4単位中2単位は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。

※上表は、2015年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取り扱いが変更される場合があります。

●モチベーション行動科学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		
領域	単位数	科目	単位数	
			T	S
a	心理学概論	心理学	②	
		行動科学		②
b	心理学研究法	心理学研究法		②
		統計分析		②
		調査法		(2)
c	心理学実験・実習	心理学実験実習		②
		心理アセスメント		②
d	知覚心理学 学習心理学	認知心理学	2	
		感性心理学	2	
		感情心理学	2	
e	生理心理学 比較心理学	—	—	—
f	教育心理学 発達心理学	教育心理学	②	
		家族の心理学	2	
		生涯発達心理学	2	
		エイジングの心理学	2	
g	臨床心理学 人格心理学	パーソナリティ心理学	2	
		臨床心理学	2	
		カウンセリング論	2	
		産業カウンセリング		2
		ストレスマネジメント論	2	
		心理療法		2
		キャリアカウンセリング論	2	
		カウンセリング演習		2
		組織心理学	②	
		リーダーシップ論	②	
h	社会心理学 産業心理学	モチベーション論Ⅰ	②	
		モチベーション論Ⅱ	②	
		社会心理学	2	
		グループ・ダイナミックス	2	
		コミュニケーションの心理学	2	
		コミュニケーション・スキル		2
		ポジティブ心理学	2	
		ゲーム理論		2
		演習Ⅰ		2
		演習Ⅱ		2
i	その他の科目	卒業研究		4

(注)・( )は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。

- ・②は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。
- ・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。

※各領域4単位中2単位は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。

※上表は、2015年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取り扱いが変更される場合があります。

## 4-2 幼稚園教諭一種免許 [対象：こども心理学部]

幼稚園教諭免許とは、幼稚園に就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において幼稚園教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

### ◆幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。詳細は、以下の表を参照してください。

幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表

#### ■ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
科 目	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件
			T	S		
日本国憲法	2	日本国憲法	2		必修	2
体育	2	体育実技A		1	選択	2 単位 以上
		体育実技B		1	選択	
		レクリエーション論		2	選択	
		健康科学論	2		選択	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	2		選択	2 単位 以上
		英語Ⅱ	2		選択	
		英語コミュニケーションⅠ		2	選択	
		英語コミュニケーションⅡ		2	選択	
		リスニング		2	選択	
中国語		2	選択			
情報機器の操作	2	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	2		必修	2

#### ■ 教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科 目	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件	
			T	S			
国語	6	国語		2	選択	4 単位 以上	
算数		算数	2		選択		
生活		生活	2		選択		
音楽	6	子ども音楽		2	必修	4 単位 以上	○
		音楽実技ⅠA		1	必修		
		音楽実技ⅠB		1	必修		
		音楽実技ⅡA		1	選択		
		音楽実技ⅡB		1	選択		
		音楽実技ⅢA		1	選択		
		音楽実技ⅢB		1	選択		
		音楽実技ⅣA		1	選択		
		音楽実技ⅣB		1	選択		
図画工作		子ども美術		2	必修	2	○
体育		子ども体育		2	必修	2	○

## ■ 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目					
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件	
				T	S			
第2欄	教職の意義等に関する科目	2	教職論	2		必修 2	○	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	2	教育学概論	2		必修 2	○	
			教育心理学	2		必修	○	
			生涯発達心理学	2		必修		
			乳幼児心理学	2		必修		
	発達障害学	2			必修			
	教育に関する社会的、制度的または経営的事項	2	比較教育制度論	2		必修 2		
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	18	子ども教育課程論		2	必修	18	3科目6単位以上
			保育内容総論(保育指導法)	2		必修		
			健康指導法	2		必修		
			人間関係指導法	2		必修		
			環境指導法	2		必修		
			言葉指導法	2		必修		
			造形表現指導法	2		必修		
			音楽表現指導法		2	必修		
教育の方法と技術	2		必修					
第5欄	教育実習	5	教育実習指導(事前・事後)(幼)		1	必修	1	(事前)のみ
			教育実習 I (幼)		2	必修	2	
			教育実習 II (幼)		2	必修	2	
第6欄	教職実践演習	2	教職実践演習(幼・小)		2	必修	2	

[実習要件について]

教育実習 I・IIを受講するためには、実習実施予定前学期末までに、教育実習要件科目○(7科目)及び「保育内容の指導法」から3科目6単位以上修得していること、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

## ■ 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目				
科 目	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件	
			T	S			
※右記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「教職に関する科目」若しくは「教科に関する科目」の単位をあてることが可能。	10	子ども学	2		選択	10単位以上(左欄※参照)	
		心理学概論(こころの形成)	2		選択		
		心理学概論(こころの理解)	2		選択		
		子ども臨床心理学	2		選択		
		子どもの心理学(総論)	2		選択		
		道徳教育	2		選択		
		子ども家庭福祉	2		選択		

### 4-3 小学校教諭一種免許 [対象：こども心理学部]

小学校教諭免許とは、小学校に就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。小学校教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において小学校教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

#### ◆小学校教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において小学校教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。詳細は、以下の表を参照してください。

小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表

#### ■ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
科 目	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件
			T	S		
日本国憲法	2	日本国憲法	2		必修	2
体育	2	体育実技A		1	選択	2 単 位 以 上
		体育実技B		1	選択	
		レクリエーション論		2	選択	
		健康科学論	2		選択	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	2		選択	2 単 位 以 上
		英語 II	2		選択	
		英語コミュニケーション I		2	選択	
		英語コミュニケーション II		2	選択	
		リスニング		2	選択	
中国語		2	選択			
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	2		必修	2

#### ■ 教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
科 目	単位数	科 目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件
			T	S		
国語 (書写を含む)	8	国語		2	選択	4 科 目 8 単 位 以 上  5 科 目 10 単 位 以 上
社会		社会	2		選択	
算数		算数	2		選択	
理科		理科		2	選択	
生活		生活		2	選択	
図画工作		子ども美術		2	選択	
家庭		家庭		2	選択	
体育		子ども体育		2	選択	
音楽		子ども音楽		2	選択	
		音楽実技 I A		1	選択	
		音楽実技 I B		1	選択	
		音楽実技 II A		1	選択	
		音楽実技 II B		1	選択	
		音楽実技 III A		1	選択	
	音楽実技 III B		1	選択		
	音楽実技 IV A		1	選択		
音楽実技 IV B		1	選択			

## ■ 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目					
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	科目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件	
				T	S			
第2欄	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	教職論	2	必修	2	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	教育学概論	2	必修	2	○
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	2	教育心理学	2	必修	8	
			2	生涯発達心理学	2	必修		
			2	乳幼児心理学	2	必修		
・教育に関する社会的、制度的または経営的事項	2	比較教育制度論	2	必修	2			
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法  ・各教科の指導法  ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	22※	子ども教育課程論	2	必修	18	4科目8単位以上
				初等国語科教育法	2	必修		
				初等社会科教育法	2	必修		
				初等算数科教育法	2	必修		
				初等理科教育法	2	必修		
				初等生活科教育法	2	必修		
				初等音楽科教育法	2	必修		
				初等図画工作科教育法	2	必修		
				初等家庭科教育法	2	必修		
				初等体育科教育法	2	必修		
	道徳教育	2	必修	4	○			
特別活動	2	必修						
教育の方法と技術	2	必修	2					
第5欄	教育実習	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4	生徒・進路指導	2	必修	2	○
				教育相談	2	必修	2	
第5欄	教育実習		5	教育実習指導(事前・事後)(小)	1	必修	1	(事前)のみ
				教育実習Ⅰ(小)	2	必修	2	
				教育実習Ⅱ(小)	2	必修	2	
第6欄	教職実践演習		2	教職実践演習(幼・小)	2	必修	2	

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する科目」「各教科の指導法」からそれぞれ4科目8単位以上修得していること、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

※教員免許の取得においては、免許法で定める各科目の必要事項を全て満たす必要があります。第4欄の「教育課程及び指導法に関する科目」においては、各教科の指導法(9科目分)を含む合計26単位全ての修得が必要です。

## ■ 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目				
科 目	単位数	科目	単位数		本学 カリキュラム	実習 要件	
			T	S			
※右記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「教職に関する科目」若しくは「教科に関する科目」の単位をあてることが可能。	10	子ども学	2	選択	10 単位以上 (左欄※参照)		
		心理学概論(こころの形成)	2	選択			
		心理学概論(こころの理解)	2	選択			
		子ども臨床心理学	2	選択			
		子どもの心理学(総論)	2	選択			
		子ども家庭福祉	2	選択			
		英語指導法	2	選択			



## 教育実習（「※介護等体験」）について

教育実習は教育職員免許法施行規則第6条の規定に基づき、教職を希望する方が学校教育の場において大学で学んだ知識や理論を生かして、実践的な知識・技能・姿勢等を培うための必修科目です。

### (1) 単位及び期間

教員免許状における必要単位と教育実習期間は次の通りです。

校種	必要単位数	内容	教育実習期間
幼稚園一種	5単位	教育実習指導(事前・事後)1単位(3~4年次)	4週間(20日間)
小学校一種		教育実習4単位(4年次)	

### (2) 教育実習指導(事前・事後)

教育実習を行う実践的な力を育むために、「教育実習指導(事前)」を3年次から受講します。4年次に教育実習を実施した後に、「教育実習指導(事後)」を履修し、2年にわたる一連の履修をもって単位が修得できます。

3年次	4年次
教育実習指導(事前)⇒	教育実習(4週間)⇒教育実習指導(事後)

「教育実習指導(事前・事後)」の単位は、4年次に事後指導を受けた後に認定されます。

### (3) 教育実習の受講要件

「教育実習」を受講するためには、教職や教職に関連する職種に就くことを希望していることと、教育実習実施前学期までに、本学が定める以下の受講要件を満たす必要があります。

#### ①幼稚園教育実習

正科生(1年次入学)については次のとおりです。

- (A) 教育実習実施前学期までに一般教育科目28単位以上(うち必修科目12単位以上)、専門教育科目64単位以上(うち必修科目16単位以上)の合計92単位以上を修得し、4年次への進級要件を満たすこと。
- (B) 上記科目に「教職論」「教育学概論」「教育心理学」「子ども教育課程論」「保育内容総論(保育指導法)、健康指導法、人間関係指導法、環境指導法、言葉指導法、造形表現指導法、音楽表現指導法のうち3科目6単位以上」「子ども音楽」「子ども美術」「子ども体育」を含むこと。
- (C) 教育実習実施前学期までに教育実習指導(事前)①②③を受講すること。

正科生(3年次編入学)は次のとおりです。

- (A) 教育実習実施前学期までに、「教職論」「教育学概論」「教育心理学」「子ども教育課程論」「保育内容総論(保育指導法)、健康指導法、人間関係指導法、

環境指導法、言葉指導法、造形表現指導法、音楽表現指導法のうち3科目6単位以上」「子ども音楽」「子ども美術」「子ども体育」を修得していること。

(B) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

②小学校教育実習（「※介護等体験」を含む）

正科生（1年次入学）については次のとおりです。

(A) 教育実習実施前学期までに一般教育科目28単位以上（うち必修科目12単位以上）、専門教育科目64単位以上（うち必修科目16単位以上）の合計92単位以上を修得し、4年次への進級要件を満たすこと。

(B) 上記科目に「教育学概論」「初等国語科教育法、初等社会科教育法、初等算数科教育法、初等理科教育法、初等生活科教育法、初等音楽科教育法、初等図画工作科教育法、初等家庭科教育法、初等体育科教育法のうち4科目8単位以上」「道德教育」「生徒・進路指導」「国語、社会、算数、理科、生活、子ども美術、家庭、子ども体育、子ども音楽のうち4科目8単位以上」を含むこと。

(C) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

正科生（3年次編入学）は次のとおりです。

(A) 教育実習実施前学期までに、「教育学概論」「初等国語科教育法、初等社会科教育法、初等算数科教育法、初等理科教育法、初等生活科教育法、初等音楽科教育法、初等図画工作科教育法、初等家庭科教育法、初等体育科教育法のうち4科目8単位以上」「道德教育」「生徒・進路指導」「国語、社会、算数、理科、生活、子ども美術、家庭、子ども体育、子ども音楽のうち4科目8単位以上」を含むこと。

(B) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

◆「※介護等体験」について◆

正科生（1年次入学/3年次編入学）ともに、小学校教育諭一種免許を取得するためには、教育職員免許法の特例等に関する法律等で定める「介護等体験」を行うことが必要です。教育実習とは別に7日間の「介護等体験」を実施します（社会福祉施設等に5日間、特別支援学校に2日間が望まれます）。

正科生（1年次入学/3年次編入学）ともに、3年次もしくは4年次で実施します。介護等体験実施前までに、介護等体験事前指導（メディア授業）を受講していることが条件となります。大学を通して各都道府県の社会福祉協議会・教育委員会に依頼をしますので、場所や日程の指定はできません。

#### (4) 教育実習の実施方法

教育実習は、一部の特別地域を除き、自身で教育実習実施前学期までに希望する小学校・幼稚園に出向いて交渉し、受け入れの内諾を得る必要があります。教育実習の実施は、実習校・園・教育委員会の協力により成立しますので、余裕をもった対応を心がけてください。また、教育実習受入校・園に迷惑をかけないためにも、教育実習の受講要件を必ず満たせるよう学習計画を綿密に立てることが大切です。

#### (5) 教育実習校・園の選定について

- ①各自で教育実習校・園を自己開拓し、確保することになります。開拓の時期は、正科生（1年次入学/3年次編入学）とともに3年次前期以降（教育実習実施1年前）となります。
- ②現在の勤務校・園、または過去5年以内に勤務していた学校・園（教諭・講師・事務職員・介助員・アルバイト等も含まれる）における教育実習は姉妹校を含め一切認められません。
- ③親族が勤務・在籍・経営している学校・園、自身の子どもが在学している学校・園での教育実習は認められません。

#### (6) 「教員免許取得希望申込書」および「教育実習希望申請書」の提出について

正科生（1年次入学生）は、2年次後期の修了時（3年次進級時）に「教員免許取得希望申込書」を指定期日までに提出しなければなりません。

また、正科生（1年次入学/3年次編入学ともに）は、3年次前期に「教育実習希望申請書」を提出するとともに、実習先を自己開拓し、仮内諾を得られた場合は、「教育実習打診結果の報告書」に実習希望校・園名等を記入し提出することになります。なお、この後の詳細については、3年次の初めにCoLSから配信される資料を確認してください。

## 4-4 社会福祉主事任用資格

### 【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部（1年次入学）】

社会福祉主事とは、自治体の社会福祉施設や事務所などの社会福祉の現業機関において、相談業務を中心に福祉サービスに係る職員に必要とされる基礎資格です。

指定された社会福祉の現業機関（福祉事務所など）に勤めると、「任用」の扱いを終え、社会福祉主事となります。

#### ◆社会福祉主事任用資格取得に必要な科目◆

社会福祉主事任用資格は、「社会福祉法」に定められており、厚生労働大臣の指定する科目（下記科目参照）のうち、3科目以上を履修し、本学所定の課程を修めて卒業することで取得できます。

#### 社会福祉主事任用資格に係る科目読替表

##### ●こども心理学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		
科目	単位数	科目	単位数	
			T	S
社会福祉概論	3科目 6単位以上	社会福祉	2	
児童福祉論		子ども家庭福祉	2	
精神障害者保健福祉論		精神保健学	2	
法学		法律学	2	
経済学		経済学	2	
社会学		社会学	2	
教育学		教育学概論	2	
医学一般		心身医学	2	

##### ●モチベーション行動科学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		
科目	単位数	科目	単位数	
			T	S
法学	3科目 6単位以上	法律学	2	
経済学		経済学	2	
心理学		心理学	2	
社会学		社会学	2	

#### 4-5 児童福祉司任用資格（※要実務経験）【対象：こども心理学部】

児童福祉司とは、児童の保護や福祉についての相談に応じたり、必要な調査および適切な援助の提供ができる、厚生労働大臣が認定する資格です。地方公務員試験に合格した後、児童相談所に配属された際に児童福祉司となります。

##### ◆児童福祉司任用資格を取得するには◆

児童福祉司任用資格は、児童福祉法に定められており、本学ではこども心理学部の課程を修めて卒業後、1年以上の実務経験（※）が必要となります。

※児童福祉法第13条より、「学校教育法に基づく大学又は旧大学令に基づく大学において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事したもの」と定められています。

#### 4-6 児童指導員任用資格【対象：こども心理学部】

児童指導員とは、児童養護施設や障害児施設などの児童福祉施設に配置されている「児童指導員」として採用する際に、基準として厚生労働省が定めた資格です。児童指導員の仕事は、児童福祉施設において、0歳～18歳までの児童の成長を援助するとともに、基本的な生活習慣や学習の指導、生活上のアドバイスなどを行います。

##### ◆児童指導員任用資格を取得するには◆

児童指導員任用資格は、本学のこども心理学部の課程を修めて卒業することで取得できます。

##### ◆任用資格とは◆

その職種に就くために求められる国が定めた資格基準のことです。各任用資格の基準を満たしていれば、有資格者として認められます。これは、該当する職種として採用されると効力を持つ資格と言えます。また、在職期間に限って通用するものです。一般的にその内容は、卒業証明書や成績証明書で確認されるので、それに関する特別な試験や資格証明書が発行されるものではありません。

## 4-7 レクリエーション・インストラクター

### 【対象：こども心理学部（1年次入学）・モチベーション行動科学部（1年次入学）】

レクリエーション・インストラクターとは、公益財団法人日本レクリエーション協会が認定している資格です。在学中に所要単位を満たすことで、卒業時に資格取得が可能となります。

レクリエーション・インストラクターは、余暇やレクリエーションに関する理論と実技の基本的な学習を積み、レクリエーションを「楽しく教える」指導者です。都道府県や市町村のレクリエーション協会などと協力し、地域の人々が気持ちよく生活できるように、スポーツや福祉活動、野外活動や芸術・文化・学習活動などを通じて地域を活性化し、市民のレクリエーション活動を支援・指導します。なお、資格取得後は資格登録費が発生します。

#### ◆レクリエーション・インストラクターを取得するには◆

3区分（理論・実技・現場実習）の要件単位を満たし卒業することで取得できます。

#### レクリエーション・インストラクターに係る科目読替表

##### ●こども心理学部

公認指導者資格養成カリキュラムに定める領域		左記に対応する本学における開講科目		
区分	要件	科目	単位数	
			T	S
理論 (15時間以上)	1科目以上	健康科学論	2	
		レクリエーション論		2
実技 (36時間以上)	2科目以上	体育実技A		1
		体育実技B		1
		子ども体育		2
現場実習 (9時間以上)	1科目以上	教育実習Ⅰ（幼）		2
		教育実習Ⅱ（幼）		2
		教育実習Ⅰ（小）		2
		教育実習Ⅱ（小）		2
		学校教育カンファレンス		2
		子育てカンファレンス		2
事業参加	2回以上	レクリエーション協会主催の事業参加（1回以上）		
		その他の団体主催の事業・ボランティア等参加（1回以上）		

●モチベーション行動科学部

公認指導者資格養成カリキュラムに定める領域		左記に対応する本学における開講科目		
区分	要件	科目	単位数	
			T	S
理論 (15時間以上)	1科目以上	健康科学論	2	
		レクリエーション論		2
実技 (36時間以上)	2科目以上	体育実技A		1
		体育実技B		1
		身体文化コミュニケーション		2
現場実習 (9時間以上)	1科目以上	身体文化コーディネート		2
事業参加	2回以上	レクリエーション協会主催の事業参加（1回以上）		
		その他の団体主催の事業・ボランティア等参加（1回以上）		

※事業参加は、レクリエーション協会主催の事業参加が2回以上でも認められます。

※事業参加に際しては、「事業参加 記録カード」に参加印をもらうことが必要となります。

また、参加に際して費用がかかる場合がありますが、自己負担となります。

※1回の事業の時間は1日あたり3時間以上を目安とします。

※事業参加には配当年次はありませんが、「レクリエーション論」の履修後を推奨します。

※事業に参加される際には、通信教育部まで連絡してください。

[資格登録費]

初年度： 約¥17,000

以後2年毎： 約¥12,000

[保険について]

入学時に加入している「学生教育研究災害障害保険」は、レクリエーション・インストラクター資格取得のための現場実習では、適用されません。

実習中は自身が怪我をする可能性があるだけでなく、参加者に怪我をさせてしまう可能性もあります。

必ず主催元が保険に加入しているかどうか、申込時に確認し、必要があれば自身も加入することを推奨します。

## 4-8 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格

### 【対象：モチベーション行動科学部】

「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会から認定される資格です。

「公認モチベーション・マネジャー」は、Basic、Advanced、Professionalの3種の資格体系からなり、Basic資格では自己のモチベーションを中心にモチベーション全般に関連する理論・知識を学び、自己の仕事の意義付けや就職活動に対するモチベーションの維持などに役立てることが出来ます。

Basicの取得後は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会の講座を受講し、AdvancedやProfessionalの資格を目指すことも可能です。

#### ◆ 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格を取得するには◆

以下の3区分に該当する8科目16単位を満たし取得できます。

「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格に係る科目読替表

区分	要件	左記に対応する本学における開講科目		
		科目	単位数	
			T	S
心理・コミュニケーション科目群	8科目16単位	組織心理学	2	
		モチベーション論Ⅰ	2	
		リーダーシップ論	2	
		コミュニケーションの心理学	2	
		モチベーション論Ⅱ	2	
		ポジティブ心理学	2	
経営科目群		モチベーション・マネジメント		2
教育科目群		コーチング	2	